

## 令和5年度第2回 置賜地域保健医療協議会 議事概要

令和5年12月19日（火）18:30～19:40  
オンライン開催（Zoomミーティング）

### 1 開 会

### 2 あいさつ（置賜総合支庁保健福祉環境部 齋藤部長）

### 3 報 告

- （1）令和5年度在宅医療専門部会及び病床機能調整ワーキングの概要について  
事務局から資料1-1～3により説明

### 4 協 議

- （1）地域医療構想の推進に係る各医療機関の具体的対応方針等について

#### ア 公立病院経営強化プラン

事務局から資料2-2～3により説明後、長岡米沢市立病院長・舟山小国町健康福祉課長（小国町立病院について）から追加説明

○主な意見・質疑等

特になし

#### イ 地域医療構想の推進に関する意向調査

事務局から資料2-4により説明

#### ウ P D C A サイクル等の実施に伴う非稼働病棟及び病床稼働率の検証

事務局から資料2-5～6により説明

○主な意見・質疑等

特になし

⇒ア及びイについて「地域医療構想の推進に係る各医療機関の具体的対応方針」として承認

- （2）第8次山形県保健医療計画案（令和6～11年度）について

#### ア 在宅医療部分

事務局から資料3-1～2により説明。そのうち置賜地域の「在宅医療において積極的役割を担う医療機関」については、資料の記載はないが、長井西置賜圏域に小国町立病院・白鷹町立病院、南陽東置賜圏域に公立置賜川西診療所を追加することを説明

○主な意見・質疑等

特になし

#### イ 地域編「置賜二次医療圏」

事務局から資料4-1～2により説明

## ○主な意見・質疑等

(看護師をはじめとした医療従事者不足に関する管内各病院の状況)

- ・中途退職の補充や産休、育休の代替職員の確保は非常に困難
- ・病床稼働率が高まれば、7対1の看護体制を見直さなければならなくなるかもしれない
- ・看護専門学校は定員割れの状況と聞いている。看護師だけでなく薬剤師等他医療従事者確保も難しくなっている
- ・病院毎に確保することはこれからより困難になると考えている。米沢市で今回連携推進法人が発足したが、地域でまとまって医療従事者を確保する体制が必要ではないか

(医師確保に向けた取組み)

- ・県医師会で医業承継問題への取組みを始めている。県予算も確保する見込みでどのような部署でどのような事業を展開していくか県担当課と協議している
- ・医業承継については、福島県が先進的に取り組んでいる。米沢で行うとなると小さな規模で行える取組みについて検討が必要と考えている

(看護師確保に向けた取組み)

- ・若年人口の減少で看護師不足は全国的な課題。県内の看護師養成学校卒業生の県内定着率は7割程度。定員割れの養成所は複数ある。4年制大学への志向が強いのか、県外に行きたいということなのか、分析をしているところ
- ・置賜は比較的少ないが潜在看護師もまだ多い。フルタイムは難しいという人が多く、雇用する側も考え方を改めて多様な働き方を提示しないと人は集まらない。夜勤必須では無理。県外での就職説明会等では、山形県の病院は2交代が少ないので就職したくないという意見を聞く
- ・県看護協会では各病院を詳細に説明したガイドブックを作成し、修学資金の情報なども掲載している。身近な人に紹介してもらい、興味を持ってもらえれば

(その他)

- ・医療従事者の確保は、中学生、高校生の早いうちから意識してもらうことが必要。待っていては何も変わらないので、どんどんアタックしていく必要がある

⇒山形県保健医療計画案について了承

## (3) 次期次山形県外来医療計画案（令和6～11年度）について

### ア 全県部分

事務局から資料5-1～2により説明

### イ 各二次医療圏の取組内容「置賜地域」

事務局から資料6-1～2により説明

## ○主な意見・質疑等

- ・看護師不足や医師の地域偏在、診療科の偏在等に関する意見が多かった。特に公衆衛生に関わる医師が不足することを医師会では懸念されており、役割分担も含め、今後深めていく必要を感じている

⇒山形県外来医療計画案について了承

(4) 令和5年度のスケジュールについて

事務局から資料7により説明

○主な意見・質疑等

特になし

4 その他

委員、事務局、双方特になし。

5 閉 会